



白浜町 議会だより

No. **67**

令和5年(2023)2月

発行 白浜町議会

編集 議会広報特別委員会



CONTENTS

令和4年第4回定例会、第4回臨時会	2
委員会活動	4
ピックアップ記事	6
一般質問	8
町議会・町議会議長の主な動き	12
次回定例会日程など	背表紙

(二十歳を祝う会：アドベンチャーワールド)

▷▷ 令和4年第4回定例会 (12月6日～12月21日)

6日	<p>第1日【開会、町長挨拶、提案理由説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会期の決定 ・提案理由説明（条例制定・改正10件、補正予算6件、報告2件、その他3件）
15日	<p>第2日【一般質問】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・廣畑議員、溝口議員、水上議員、横畑議員 ※P8～P10に内容記載
16日	<p>第3日【一般質問】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長野議員、松田議員、小森議員 ※P10～P11に内容記載
20日	<p>第4日【議案審議、追加議案提案理由説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・追加議案の提案理由説明（条例改正2件、報告1件、補正予算5件） ・議案審議（条例制定・改正10件、補正予算6件、報告1件、その他3件）
21日	<p>第5日【議案審議、追加議案提案理由説明、閉会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・追加議案の提案理由説明（諮問4件） ・議案審議（報告2件、条例改正2件、補正予算5件、諮問4件、決算認定9件） ・委員会発議案件（議員派遣1件、閉会中の継続調査申出1件）

条例制定・改正

- 白浜町職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例について
- 地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について
- 白浜町財政事情の作成及び公表に関する条例の一部を改正する条例について
- 白浜町議会議員及び白浜町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例について
- 白浜町立保育園条例の一部を改正する条例について
- 白浜町農業集落排水事業の設置等に関する条例の制定について
- 白浜町下水道事業の設置等に関する条例の制定について
- 白浜町簡易水道事業の設置等に関する条例の制定について
- 白浜町公共下水道事業基金条例の制定について

- 白浜町農業集落排水事業の設置等に関する条例、白浜町下水道事業の設置等に関する条例及び白浜町簡易水道事業の設置等に関する条例の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について
- 白浜町職員の給与等に関する条例等の一部を改正する条例について
- 白浜町長等の給与等に関する条例及び白浜町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について

補正予算

- 令和4年度白浜町一般会計補正予算(第8号)
 - ・既定予算への補正額 3億9100万円
 - ・補正後の歳入歳出予算総額 137億2055万円
- 主な補正内容は次のとおり
- 【総務費】
- ・ふるさと白浜応援寄附金事業 2億5000万円

- ・マイナンバーカード申請等支援事業 242万円

- ・県議会議員選挙事業 860万円

【民生費】

- ・障害者自立支援給付費等事業 6245万円

- ・障害児施設措置費等事業 430万円

- ・子ども医療扶助費等事業 480万円

【衛生費】

- ・し尿処理場用地取得事業 445万円

【農林水産業費】

- ・森林環境整備事業 1229万円

- ・水産業施設改修補助事業 190万円

【観光費】

- ・スポーツ合宿等誘致補助事業 130万円

【土木費】

- ・道路維持補修事業 550万円

○令和4年度白浜町一般会計補正予算(第9号)

- ・既定予算への補正額 4874万円

- ・補正後の歳入歳出予算総額 137億6929万円

主な補正内容は次のとおり

【衛生費】

- ・出産・子育て応援交付金事業 1600万円

○令和4年度白浜町国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)

- ・既定予算への補正額 299万1千円

- ・補正後の歳入歳出予算総額 29億3391万8千円

○令和4年度白浜町国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)

- ・既定予算への補正額 49万1千円

- ・補正後の歳入歳出予算総額 29億3440万9千円

○令和4年度白浜町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)

- ・既定予算への補正額 4207万9千円

- ・補正後の歳入歳出予算総額 7億1757万円

○令和4年度白浜町介護保険特別会計補正予算(第3号)

- ・既定予算への補正額 22万3千円

- ・補正後の歳入歳出予算総額 33億6554万8千円

○令和4年度白浜町介護保険特別会計補正予算(第4号)

- ・既定予算への補正額 53万円

- ・補正後の歳入歳出予算総額 33億6607万8千円

○令和4年度白浜町農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)

- ・既定予算への補正額 60万円

- ・補正後の歳入歳出予算総額 1560万円

○令和4年度白浜町簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)

- ・既定予算への補正額 37万1千円

- ・補正後の歳入歳出予算総額 1億489万円

○令和4年度白浜町下水道事業特別会計補正予算(第2号)

- ・既定予算への補正額 360万円

- ・補正後の歳入歳出予算総額 4億2238万4千円

○令和4年度白浜町水道事業特別会計補正予算(第2号)

- ・既定予算への補正額 114万円

- ・補正後の歳入歳出予算総額 8億1325万円

- ・収益的収入 7億4969万円
- ・収益的支出

報告

次の事項について報告を受け、質疑を行いました。

○第54期南白浜温泉株式会社経営状況の提出について

人事案件

次の方を適任と認めました。

- 人権擁護委員
- ・堅田 千ヤ子（湯崎）
- ・小山 よし子（日置）
- ・梅本 昌宏（玉伝）
- ・中村 吉晴（安居）

総務大臣表彰表彰状伝達式

10月5日に総務大臣から、町議会議長として通算12年以上在職し、地方自治の発展に寄与した西尾議員に表彰状が贈呈されましたので、定例会初日の開会前に表彰状の伝達式を行いました。



（東京：全国町村会館）

令和4年第4回臨時会

令和4年第4回臨時会は、10月26日招集、1日間の会期で開催しました。条例改正1件、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けている住民生活への支援を含む補正予算1件について審議し、全て可決しました。

補正予算

○令和4年度白浜町一般会計補正予算（第7号）

・既定予算への補正額

2億6800万円

・補正後の歳入歳出予算総額

133億2955万円

主な補正内容は次のとおり

【民生費】

・住民税非課税世帯等臨時特別給付金事業

1億8980万円

・子育て世帯等給付金事業

5460万円

【教育費】

・給食費無償化等事業

2360万円

決算審査特別委員会 審査報告

9月20日の本会議において、委員10名で構成する決算審査特別委員会が設置され、10月3日から6日までの4日間で、令和3年度白浜町一般会計歳入歳出決算をはじめとする各会計決算9件の審査を行いました。

審査にあたっては、議会が決定した予算が適切、効率的に執行され、行政効果や経済効果が上がっているか、また、後年度の予算編成や予算執行に生かされているかを主眼に審査を行いました。

審査の結果、各種会計決算9件は、意見を付して、全て認定すべきものと決定されました。（審査報告書 総括意見は5頁に記載。）



（現地調査：日置地区津波避難タワー）



（現地調査：富田中学校屋内運動場）

決算審査特別委員会審査報告書 総括意見

令和3年度決算は、各種会計において、「第2次白浜町長期総合計画」を基に、「住みたい、住み続けたい、住んでよかった」と感じられる、魅力あふれる「白浜町」を創造するため、防災対策、生涯学習、観光振興、農林水産業振興、地域振興等の諸施策に対して、また、新型コロナウイルス感染症対策については、ワクチン接種の促進をはじめとする感染症対応の最前線で、町内医療機関の協力や町職員を総動員し町の感染症対応に取り組まれている。

今後の行政施策の取組においては、同計画を基に、各種施策が展開されるものと思われるが、行政ニーズへの柔軟な対応や職員個人の創意工夫が引き出されるような取組が組織全体の活性化につながるものであり、効果的、効率的な行財政運営とともに、地域バランスや事業の優先順位などを十分考慮しながら、中長期的な見通しを立て、事務事業の執行に取り組まれない。

歳入においては、人口減少や少子高齢化に伴い町税収の伸びは期待できない状況にある中、令和3年度は、新型コロナウイルス感染症による非製造業を中心に幅広い業種で影響が生じており、依然として厳しい状況にある。また自主財源の割合は約30.9%にとどまっており、地方交付税や国庫支出金等に歳入の多くを依存している状況である。

住民生活に身近なサービスを安定的・持続的に提供した上で、地域の実情に応じた地域活性化の取組を進めていくには、一般財源を適切に確保していく必要がある。よって、町税、国民健康保険税、各種使用料、手数料等の未収金については、町財政の根幹である自主財源の低下を招くものであることから、公金の徴収・収納に関しては、引き続き各課の連携を密にして徴収業務を実施するとともに、財源の確保と負担の公平性の観点からも、収納対策に取り組まれない。

歳出においては、財政の深刻度を示す財政健全化判断比率は、それぞれ前年度決算と同程度であるが、財政構造の弾力性を判断するための指標である経常収支比率は、前年度決算より8.4%改善し、令和3年度決算では90.1%となっているが、依然として財政構造の硬直化が続いていることを示しており、今後も厳しい財政運営を強いられることが予想される。こうした中、行政改革においては、財政再建、経費削減に努められ、民間活力を活用した行政事務等の民間委託やアウトソーシングなどにより、行政のスリム化、効率化が推進されている。今後も、時代に即した行政需要に的確に対応し、住民サービスのより一層の向上を図るために、組織、制度や行政運営の在り方を見直し、行財政運営の適正化・効率化を図られたい。

子育てをめぐる環境が厳しさを増しつつある中で、少子化の深刻化は社会経済の根幹を揺るがす大きな課題である。子育てのための支援策については、国や県の方針に的確に対応し、計画的な子育て支援策の推進を図るなど地域の特性に応じた施策を推進されたい。

決算審査を行う意義は、「行政効果の客観的判断と、今後の改善や反省事項の把握と活用」である。当委員会でも出された意見を真摯に受け止め、次年度予算の編成・執行に生かされたい。また、今後とも町民の福祉の向上や質の高い行政サービスの提供を行うなど、施策・事業の計画的推進、重点化及び効果的な財源配分に努められたい。

【委員長】 辻 成紀

【副委員長】 堅田 府利

【委員】 長野 莊一 溝口 耕太郎 廣畑 敏雄 横畑 真治
西尾 智朗 水上 久美子 松田 剛治 黒田 武士

Pick up!

12月定例会を中心に審議内容をピックアップしてご紹介します。

Pick up! ①

入湯税の税率の改定等の検討 (11月21日開催)

全員協議会

◆趣旨等

人口減少・少子高齢化の進行等に伴う
 税収の減少、高齢化に伴う扶助費の上昇による義務的経費の増加等により、本町の財政を取り巻く環境は、ますます厳しい状況となることが予想される。

こうした中、引き続き町勢の伸展と持続可能な行財政運営を進めていくためには、町の基幹産業である観光産業の活性化が非常に重要であることから、事業財源の確保を目的として、入湯税の税率の改定等を検討し、観光施策の充実と観光産業の振興を図る。

問 入湯税の改定以外に宿泊税の導入等も予定しているか。

も予定している。

答 宿泊税については、導入先の自治体でも賛否が分かれており、導入に向けた課題等を慎重に検討しなければならぬと考えている。

問 入湯税を改定した場合の増収分については、どういった事業に充当する予定としているか。

答 入湯税を改定した場合の増収分については、観光に特化した特定目的基金を創設するなど、観光を振興するための事業への活用を考えている。

Pick up! ②

住民税非課税世帯等臨時特別給付金事業 1億8980万円

10月臨時会

◆事業概要

電力、ガス、食品等の価格高騰による負担増を踏まえ、特に家計への影響が大きい低所得者世帯(住民税非課税世帯等)に対して、1世帯当たり5万円を給付する。

◆支給対象者

①基準日(令和4年9月30日)において、世帯全員の令和4年度分の住民税均等割が非課税である世帯(住民税が課税されている者に扶養されている世帯を除く。)

◆事業スケジュール

◆確認書の発送

・令和4年11月下旬

◆申請受付期間

・令和4年11月下旬から令和5年1月31日まで

◆支給開始日

・令和4年12月下旬



②家計急変世帯(予期せず家計が急変したことで収入が減少し、①の世帯と同様の状態にあると認められる世帯)

Pick up! ③

給食費無償化等事業

2360万円

10月臨時会

◆事業概要

新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、食料費等の物価高騰の影響を大きく受ける子育て世帯の負担軽減を目的として、保育園・幼稚園及び小学校・中学校等での給食費に対する無償化等事業(対象期間:令和5年1月~3月まで)を実施するとともに、給食費の保護者負担の抑制を図るため、給食材料費等物価高騰分に対し、私立保育施設等への補助(対象期間:令和4年度)を行うもの。

◆対象等

◆給食費無償化等事業分
 ①保育園、幼稚園(私立を含む。)等に通う園児(町内在住3~5歳)
 ②町内の小学校、中学校に通う児童、生徒
 ③町外の学校に通う児童、生徒

◆給食材料費等物価高騰対策補助事業分
 ・私立保育施設等



Pick up!

12月定例会を中心に審議内容をピックアップしてご紹介します。

Pick up! ④

令和4年度子育て世帯等給付金事業

5460万円

10月臨時会

◆事業概要

新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、食材料費等の物価高騰の影響を大きく受ける子育て世帯の生活支援を目的として、平成16年4月2日以降に生まれた子どもを養育する世帯に対して、子ども1人当たり2万円の給付金を支給するもの。

◆支給対象者

白浜町に住民登録を有する18歳以下（令和5年4月1日現在）の子ども等

◆支給開始日

令和4年12月下旬



問 今回、国の交付金を活用して本事業を実施する予定となっているが、子育て支援には継続した取組が必要であると考えられる。交付金がなくなった後でも、こうした事業をさらに充実させる考えは。

答 次年度に向け、どういった事業が子育て支援に有効であるか検証しており、実現可能なものから取り組んでいきたい。

Pick up! ⑤

ふるさと白浜応援寄附金事業

2億5000万円

12月定例会

◆事業概要

平成20年度の税制改正で、「ふるさと」を応援したいという方の思いを実現するため、地方公共団体に寄付した場合、住民税や所得税が一定限度まで控除されるようになりました。

白浜町では、町の特産品や観光PRに向け、お礼商品、納税方法（旅先納税など）の拡充に取り組んでいます。

9月の補正予算に引き続き、寄附金の受入れ実績等をもとに2億5千万円の増額補正を行うなど、今年度のふるさと白浜応援寄附金総額で7億5千万円を見込んでいます。



問 白浜町では、全国に先駆けて「旅先納税」を開始していると思うが、利用率はどうなっているか。

答 11月2日から旅先納税を開始しているが、11月の実績としては、15件の25万5000円にとどまっている。制度の周知等を積極的に進め、利用実績の増加に向け取り組んでいく。

Pick up! ⑥

出産・子育て応援交付金事業

1600万円

12月定例会

◆事業概要

産前・産後の孤独孤立や育児不安を抱える妊産婦、子育て世代への支援を強化するため、妊娠期から出産・子育てまで一貫して相談に応じる「伴走型相談支援」と「経済的支援」を一体的に実施する。

◆事業内容

◆伴走型相談支援
全ての妊産婦等に對して、保健師等による面談や相談支援等を継続的に実施。

◆経済的支援

「妊娠届出時」と「出生届出時」における伴走型相談支援の面談後にそれぞれ5万円を助成。



問 伴走型相談支援として、LINEなどを活用した面談は予定しているか。

答 現時点では、相手の表情、雰囲気を感じられる対面での面談を考えている。

問 経済的支援としてクーポン券等で支給する自治体もあるが、白浜町はどうか。
答 現金支給のほうが使途が幅広く、速やかに支給できるため、現金支給とする。

一 般 質 問

一般質問とは、議員が町の行政全般にわたり、執行機関に対し事務の執行の状況及び将来に対する方針等について質問を質し、あるいは報告、説明を求め、または疑問を質すことをいいます。

○廣畑 敏雄 議員（8ページ）

- ①海岸線への松の植林種の変更について
- ②白良浜の養浜事業について
- ③男女共同参画社会への啓発について

○溝口 耕太郎 議員（9ページ）

- ①学童保育について
- ②高齢者の交通手段について

○水上 久美子 議員（9ページ）

- ①コロナ禍の中、町の実態と活性化について
- ②マイナンバーカードの活用とマイナポイントについて
- ③コロナ禍における小学校・中学校の学校生活等の様子について

○横畑 真治 議員（10ページ）

- ①地域交通について
- ②公共施設のトイレ整備について
- ③白浜町のまちづくりについて

○長野 莊一 議員（10ページ）

- ①安心・安全な町づくりについて
- ②林業の振興について
- ③学校の安全管理について

○松田 剛治 議員（11ページ）

- ①手話言語条例について
- ②代読、代筆支援の充実について
- ③子育て支援について

○小森 一典 議員（11ページ）

- ①日置川地域の活性化について
- ②小学校・中学校における特別支援学級の環境整備と支援について



ひろはたとしお 廣畑 敏雄 議員

QRコードの有効期限は3月下旬まで



【問】男女共同参画週間中のジェンダー平等の啓発物品等の展示が突然中止となったが、なぜ中止になったのか。男女共同参画社会の実現に向け、広く町民へ啓発を促すことが大切と考える。

【答】中止の理由は、参議院議員選挙日前投票期間であり、選挙期間中は掲示物には細心の注意を払っており、投票所においても掲示物は隠す、外す等の対応を行っている。行政としては、多くの政党が公約に掲げていたことから、公平を期すために撤去という判断をした。白浜町では、男女共同参画推進懇話会を設置し、同懇話会主催の講演会を開催するなど、男女共同参画への理解を深めるための啓発を行っている。

このほか、廣畑議員は「海岸線への松の植林種の変更について」「白良浜の養浜事業について」質問しました。

【問】持続可能な開発目標（SDGs）の5番目に位置づけられ、SDGs 17の目標の全てにジェンダー平等は欠かせない課題と位置づけられている。国会議員の暴言も報道されているが、今後どのように考え、取り組んでいくのか。

【答】多様性を認め、誰もが生き生きと暮らせる偏見や差別のない社会を実現するため、多様な性の正しい知識と理解促進に向けた職員研修をはじめ、町民の皆様にもご参加いただけるような講演会等の啓発活動にも取り組んでいきたい。

問

男女共同参画社会の実現に向けた取組は

答

偏見や差別のない社会の実現に向け取り組む

問

老朽化した学童保育施設整備に向けた考えは

答 施設設備の問題等を考慮し検討していく

問 白浜町には何か所の学童保育所があるか。また、新型コロナウイルスの影響で利用率に変化はないか伺う。

答 町内に学童保育所は5か所設置しており、新型コロナウイルス感染拡大前と現在の学童保育所の登録人数について比較したところ、利用率に大きな変化はない。

上の問題も抱えていることから、財源等について十分な協議を行った上で、建て替えを検討していかなければならないと考えている。

問 学童保育施設を建て替える場合、国・県の補助制度はどうなっているか。また、補助金の申請手続きはどうなっているか伺う。

問 民間の建物を借りて学童保育所を開設しているのは、北っ子学童クラブだけだと思うが、施設が古く設備面が課題であり、新規に建て替えるべきであると判断するが、教育委員会の考えはどうか。

答 平成27年から、小学6年生まで対象が広くなり、それに伴うトイレ等の施設設備の不足等、構造

子ども・子育て支援施設整備交付金（国・県ともに補助率の上限は3分の1）の制度があり、補助を受けるには、年5回、国において実施される事前協議に関係書類を提出し、協議をする必要がある。このほか、溝口議員は「高齢者の交通手段について」質問しました。



みぞぐち こうたろう
溝口 耕太郎 議員



QRコードの有効
期限は3月下旬まで



(しおつ学童保育所)

問

町の活性化に向けた今後の観光の展望は

答 コロナ禍で変化するニーズを捉えて展開する

問 コロナ禍で町の実態と経済動向はどう変化しているか。マイクローツーリズム、ワーケーション等の関係人口開拓と展望は。

答 今後さらに多種多様なコンテンツの提供が必要になってくると考えており、引き続き経済団体等と連携し、その時々トレンド等を見逃すことなく取り組みたい。

問 新たなニーズや地域活性化に向け、次年度予算化できるか。

答 その時々に応じた対応を適切な場面で行っていききたい。

問 マイナンバーカード交付率と健康保険証、運転免許証との一体化について、町の見解を伺う。

答 11月30日現在、当町の交付率は50.5%となっている。健康保険証や運転免許証などの一体化については、今後の国の対応を注視していきたいと考える。

問 コロナ禍で不登校生が過去最多。実数と要因、対策や支援は。

答 令和元年度の不登校児童生徒数は39名、令和2年度は35名、令和3年度は48名である。不登校を取り巻く現状は複雑で、不登校児童生徒に関する支援・指導については、スクールカウンセラー等を配置し、児童生徒、保護者への心理的支援や家庭訪問による学習支援等、心のケアを日々続けている。また、目安を超えて時間外労働を行っている職員もいることから、働き方改革を進めていきたい。



みずかみ くみこ
水上 久美子 議員



QRコードの有効
期限は3月下旬まで



問

公共施設のトイレ整備についての考えは

答

公共施設の現状を精査し必要な整備に努める

問 公共施設の中には、古くても耐震化や修繕を行い、安全性を確保することで長期に利用している施設もあり、そうしたことに對して異論はない。

答 しかしながら、耐震補強により今後しばらく使用する公共施設も多くあると思われるが、利用人数自体は少なくとも頻繁に利用されている施設や、また、災害時の避難場所として指定、利用されている施設もあるものと思われる。

職場の環境を整えることも大変重要に感じるが、公共施設のトイレ整備についてどう考えているのか、町の考えを伺う。



よこはた しんじ 横畑 真治 議員



QRコードの有効期限は3月下旬まで



このほか、横畑議員は「地域交通について」「白浜町のまちづくりについて」質問しました。

答 これまで小中学校や公衆トイレについて、優先的に整備及び洋式化に取り組んできたところであるが、本庁舎を含めた他の公共施設においても、各施設を利用される皆様がいやすいトイレ整備は必要であると考えている。

今後継続して、各公共施設の現状等を精査しつつ、職場環境の改善とも併せて、適宜必要な整備に努めてまいりたいと考えている。

問

避難方法の充実に向けた町の考えは

答

避難対策が必要な地区ではハード整備も検討

問 白浜町津波避難計画の改訂で、より避難方法を充実させるための対策が必要な地区について、今後どのような取組を行うのか伺う。

答 今回の津波避難計画改訂において、一定の基準を設け対象地区の抽出を行った結果、富田地区が該当し、今後ハード整備を含めた具体的な避難方法等について、地元区と協議を進めてまいりたい。

学校の安全管理について

問 廃校となった学校の遊具の管理方法について伺う。

答 廃校となった学校の一部で遊具の点検を行っているが、多くの廃校の遊具については管理ができないため、撤去の検討を進めていきたい。



ながの そういち 長野 荘一 議員



QRコードの有効期限は3月下旬まで



(昭和南海地震の到達記録津波碑)

林業の振興について

問 公共建築物における紀州材の利用状況と今後の活用について伺う。

答 当町では、公共建築物への木材使用の必要性を鑑み、学校施設の建替えや大規模改修をはじめ、多くの公共建築物に紀州材を利用してきた。今後も、積極的な紀州材の活用を継続させていく必要があると考えている。

町の森林環境譲与税の活用事例と今後について伺う。

問 町の森林所有者アンケート調査、枯松伐倒事業、松くい虫防止薬剤樹幹注入事業、森林の測量・間伐事業などに活用してきた。今後も趣旨に則り、効果的な活用を行ってまいりたい。

問 子育て世代への町独自の経済的支援は

答 次年度からの有効な施策実施に向け取り組む

問 国の総合経済対策に盛り込まれる出産・育児の「伴走型相談支援」を実施していく考えは。

答 伴走型相談支援と経済的支援の一体化実施については、12月定例会会期中に追加補正予算として上程し、可決後、速やかに事業実施に取り組む予定としている。

代読・代筆支援の充実

問 代読・代筆支援を必要とする方のニーズに応じて、専門の支援員の養成等の仕組みづくりを推進する取組をどう考えるか。

答 視覚に障がいがある方に対する読み書きの支援は、当町にとっても検証を進めていかななくてはならないものと認識している。

代読、代筆を行うヘルパー派遣事業等、他自治体の取組事例を参考に支援策を研究してまいりたい。

手話言語条例について

問 令和3年9月定例会にて可決された条例では、手話がいやすい環境を整えるための施策に取り組むと明記されているが、現状どのような計画を立てられ、条例運用がなされているのか。

答 令和3年度、4年度において、みなべ町、上富田町との3町合同による手話奉仕員養成講座を開催するなど、手話奉仕員の養成及び手話に対する理解・普及に取り組んでいる。そのほかに掲げる施策についても、今後総合的かつ計画的に進めてまいりたい。

問 小中学校における特別支援学級の環境整備と支援

答 連続性のある多様な学びの場の充実に努める

問 町の学校教育重点目標の一つに「特別な支援を要する児童生徒の課題を学校経営の柱に据え、特別支援教育を推進する」と明記されている。

答 共生社会の実現に向けて、現在どのような取組がなされているか、当局の見解を伺う。

問 答 共生社会の形成に向けて大切なことは、みんなが知ること、みんなが想像すること、みんなが考えること、みんなが取り組むことだと考えている。

学習上、または生活上の困難さがある児童生徒には、障がいの有無に関わらず周囲の理解と支援が必要であり、個々の児童生徒と向き合えるような学校づくりを進めていきたい。

日置川地域の活性化

問 コロナ禍による地域経済の衰退、また、少子高齢化、人口減少問題に直面している日置川地域の活力を取り戻す催しの一つとして、花火大会開催を熱望する住民の声が増えているが、実現に向けて町長の見解を伺う。

問 答 日置川地域における花火大会の開催に関しては、地元経済団体を中心に観光資源として、また、地域の活力を取り戻す催しの一つとして、ぜひ実現させたいと考えている方が少しずつ増えてきているように感じている。実施主体や事務局の体制が明確となり、基本的な計画等をお示しいただければ、実行性等を精査し対応を検討させていただきたい。



まつだ たけはる 松田 剛治 議員



QRコードの有効期限は3月下旬まで



(全日本ろうあ連盟「手話マーク」)



こもり かずのり 小森 一典 議員



QRコードの有効期限は3月下旬まで



10月

- 3日 ● 決算審査特別委員会
- 4日 ● 決算審査特別委員会
- 5日 ● 決算審査特別委員会
- 6日 ● 決算審査特別委員会
- 7日 ● 紀南環境広域施設組合議会定例会
- 13日 ● 議会広報特別委員会
- 18日 ● 議会運営委員会
- 26日 ● 第4回臨時会
- 総務文教厚生常任委員会
- 27日 ● 富田川衛生施設組合議会
- 28日 ● 和歌山県町村議会議長会
委員長・副委員長研修会

11月

- 4日 ● 田辺周辺広域市町村圏組合議会
● 公立紀南病院組合議会
- 7日 ● 西牟婁郡町村議会議長会政務調査
- 8日 ● 西牟婁郡町村議会議長会政務調査
- 9日 ● 第66回町村議会議長全国大会
- 13日 ● 南紀日置川リバーサイドマラソン
- 17日 ● 和歌山県町村議会議長会
全議員研修会
- 21日 ● 全員協議会

観光建設農林常任委員会

主な委員会活動

- 6月21日
 - ・ 令和4年度調査事件の協議
- 10月4日
 - ・ 令和4年度調査内容の協議
- 11月24日
 - ・ 所管事務調査（現地調査）

（委員長） 廣畑 敏雄
 （副委員長） 黒田 武士
 （委員） 長野 莊一、堅田 府利
 小森 一典、辻 成紀

所管事務調査（現地調査）

令和4年度の委員会調査については、感染拡大防止の観点から、県外の先進地調査は行わず、町内事業の事務調査を実施することとし、11月24日に、「林道将軍川線（写真上）」「久木公衆便所（写真左下）」「志原海岸小公園（写真右下）」の現地調査を実施しました。

当日は、現地で担当課から事業の進捗状況や今後の事業計画等について説明を受けるとともに、完成した施設等の確認を行いました。



▷▷ 町議会・町議会議長の主な動き (10月～12月)

- 12月
- 24日 ● 公立紀南病院組合議会
 - 観光建設農林常任委員会 調査
 - 25日 ● 紀南地方老人福祉施設組合議会
 - 紀南地方児童福祉施設組合議会
 - 公立紀南病院組合議会
 - 29日 ● 議会運営委員会

- 2日 ● 大辺路衛生施設組合議会
- 6日 ● 第4回定例会(第1日)
- 全員協議会
- 15日 ● 第4回定例会(第2日)
- 議会運営委員会

- 16日 ● 第4回定例会(第3日)
- 20日 ● 第4回定例会(第4日)
- 議会運営委員会
- 21日 ● 総務文教厚生常任委員会

● 第4回定例会(第5日) 研修

- 議会運営委員会
- 全員協議会
- 議会広報特別委員会
- 22日 ● 富田川治水組合議会
- 26日 ● 公立紀南病院組合議会

主な委員会活動

- 6月21日
 - ・ 令和4年度調査事件の協議
- 10月4日
 - ・ 令和4年度調査内容の協議
- 12月20日
 - ・ 所管事務に関する講習会の実施

(委員長) 松田 剛治
 (副委員長) 横畑 真治
 (委員) 溝口耕太郎、正木 秀男
 西尾 智朗、水上久美子

総務文教厚生常任委員会

里親支援制度に関する講習会

12月20日、講師に「里親支援センターほっと」を招き、里親支援制度に関する講習会を開催しました。

講演会では、和歌山県、紀南地方の状況なども踏まえながら、里親制度が普及しない現状や課題について講演いただきました。

里親に関心のある方はお気軽にお問い合わせください。

里親支援センターほっと

☎ 34-2735



次回日程

次回第1回定例会の日程（案）は、次のとおりです。

日	月	火	水	木	金	土
2/19	20	21 議会運営委員会 10:00～	22	23	24	25
26	27	28 開会日 第1日 提案説明等	3/1 (休会) ※委員会開催や 議案調査のため	2	3	4
5	6	7	8	9 第2日 一般質問	10 第3日 一般質問	11 (休会)
12	13	14	15	16	17 第4日 議案審議	18 (休会)
19	20 閉会日 第5日 議案審議	21	22	23	24	25

定例会は、午前10時開会予定です。

次回第1回定例会の日程は、2月21日（火）開催予定の議会運営委員会で決定します。

日程の詳細は、議会事務局（☎43-6591）までお問い合わせください。

編集後記

今年の冬は例年より厳しい寒さとなっていますが、いかがお過ごしでしょうか。新年を迎え、気持ちも新たに前に進んでいこうと決意された方も多いのではないのでしょうか。さて、コロナ禍の生活も3年が経ち、イベントや式典の縮小に伴い、町民の皆様とふれあう機会が少なくなっており、非常に残念でなりません。昨年は感染拡大防止のため、県外先進地調査をやめて町内視察や研修会で議員のスキルアップに努めるなど、コロナ禍においても議会活動の継続に努めてきました。本年は、現在進めている議会ICT化の取組をさらに前進させ、コロナ禍で制限される町民の皆様とのふれあいの機会を増やせる一年にしたいと考えています。（堅田）

お知らせ

令和2年9月議会から、議会広報の一環として一般質問の様子をFMビーチステーションにて放送しております。（76.4MHz）

多くの方に聞いてもらえるよう、また、新型コロナウイルス感染症対策として議会の傍聴をお控えになる方にかんがみまして、限られた時間ではございますが、放送を始めしております。放送予定については、議会のホームページ等でお知らせしていますので、是非聞いてみてください。

議会広報特別委員会

委員長 水上久美子
副委員長 黒田 武士
委員 堅田 府利
横畑 真治
西尾 智朗
辻 成紀

町議会に関する情報は「議会ホームページ」へ

